

2023. 03. 10

「(一社) 日本建設業連合会 建築設計部門年次アンケート 2022」より

はじめに

多様な発注方式のひとつである「設計施工一貫方式」は、設計と施工の一体化により、施工者のノウハウや固有技術を活用した設計が可能な方式です。(一社)日本建設業連合会(以下、日建連)では、総合建設会社の総合力を最大限に活用できる設計施工一貫方式のさらなる普及促進に取り組んでいます。

また、日建連では旧建築業協会時代の1992年より、会員各社の建築設計部門の実情を把握し、建築業界としての提言や方策を講ずる基礎資料として、会員各社を対象に「建築設計部門に関する年次アンケート」を毎年実施しており、本年もアンケートを実施し、報告書を取りまとめました。

この調査結果のうち、設計施工一貫方式普及の指標となる「設計施工率」と、設計関連有資格者の数について、昨年に引き続き公表します。

調査概要

調査対象：(一社)日本建設業連合会 建築本部委員会参加会社 58社

調査時期：2022年7月1日現在(ただし設計施工率は2021年度の受注額から計算)

調査結果(抜粋)

(1) 設計施工率(国内、有効回答58社)

	設計施工一貫受注額	設計施工率	昨年比
単独設計	4,427,660百万円	45.1%	-2.0p
共同設計	824,756百万円	8.4%	-0.2p
単独設計+共同設計	5,252,415百万円	53.5%	-2.1p

註) ・設計施工率=設計施工一貫受注額/建築工事受注額

- ・建築工事受注額(国内) …9,819,413百万円(昨年より+976,110百万円, 11.0%増加)
- ・設計施工一貫受注額 …5,252,415百万円(昨年より+332,605百万円, 6.8%増加)
- ・共同設計は他社と共同で設計したもの。設計業務範囲に関わらず受注工事金額を設計施工一貫受注額としている。
- ・JV工事の場合は、JV工事の持分を算入

(2) 設計関連有資格者(有効回答58社)

	保有数	増減人数	増減率	保有率	昨年比
一級建築士	6,112人	+81人	+1.3%	58.8%	-0.9p
構造設計一級建築士	1,096人	-6人	-0.5%	10.5%	-0.4p
設備設計一級建築士	545人	+12人	+2.3%	5.2%	-0.1p
建築設備士	994人	+15人	+1.5%	9.6%	-0.1p

註) ・保有率=保有者数/建築設計部門所属人数

- ・建築設計部門所属人数…10,391人(昨年より+283人、+2.8%増加)
- ・「増減人数(増減率)」及び「昨年比」は昨年よりの変化を示す。

以上

本件に関する問い合わせ先

(一社)日本建設業連合会(担当:村野)
電話 03-3551-1118 (建築部)
東京都中央区八丁堀2-5-1 東京建設会